

## 令和元年度第1回北海道総合開発委員会計画部会で出された主な御意見

## 将来像1 北国で心豊かに暮らせる 安全・安心社会

- 働き方改革に関する道の取組の現状について記載が必要。【共通1・2,「経済社会情勢の変化」】
- 人材不足によって、地域の保健福祉・医療が崩壊に向かっている状況にある。【共通1・2・6】
- 子ども達が生まれ育った地域を好きになるよう、地域にちなんだ歌を作るなどソフト的な仕掛けも必要。【共通1・7】
- 外向きに北海道の魅力をアピールするだけでなく、北海道に住む若い人が自分たちを誇れるような記載が必要。【共通1・7】

## 将来像2 北国で心豊かに暮らせる 安全・安心社会

- 5年、10年先を見据えた形での交通システムのあり方を記載することが必要。【共通2・4】
- 交通といっても、住民の足、物流、観光という切り口がある。そこを整理して課題や今後の方向性を検討することが必要。【共通2・4】
- 働き方改革に関する道の取組の現状についての記載が必要。【共通1・2,「経済社会情勢の変化」】
- 人材不足によって、地域の保健福祉・医療が崩壊に向かっている状況にある。【共通1・2・6】
- 建設技術者の不足は人材育成の問題に絡むので、強靱化計画での記載と重ならないように配慮をしながら記載できるとよい。【共通2・6】
- 情報基盤、情報通信が社会そのものを変えていくということが言われる中で、Society5.0は重要な視点。【共通2・5・6】
- 情報システムと交通システムの融合によって、北海道のモビリティが変わりうる。それがSociety5.0化につながる。【共通2・4・5】
- MaaSが話題となっているが、よく理解されていない。遅れている部分と進んでいる部分を評価しながら記載することが重要。【共通2・4】
- 自然エネルギーの利用を拡大すると同時に、万が一、エネルギー不足となった時にエネルギーを自給自足できる体制を進めていくべき。【共通2・3】
- 災害について、“起こったこと”と“リスク”は異なる概念。大規模自然災害の“リスク”の増加についての観点が必要。【共通2,「経済社会情勢の変化」】
- 北海道は活火山が多い。噴火を抑えることはできないので、発生に備える対策が必要。
- インフラの延命化・長寿命化対策が必要。
- 多様な課題を解決していく上で、ジェンダー平等がないと、どの取組も前に進まないのので、ジェンダー平等に本腰を入れることが必要。【共通2・6・7】
- 現在も高齢者が詐欺や悪質商法の被害に遭っているが、今後、成人年齢の引下げにより、若者の消費者被害が急増することが懸念される。

### 将来像3 豊かな自然と共生する「環境先進モデル・北海道」

- 現実を踏まえつつ、北海道として、将来に向けてどういうエネルギーのあり方がいいのかという観点が必要。
- 自然エネルギーの利用を拡大すると同時に、万が一、エネルギー不足となった時にエネルギーを自給自足できる体制を進めていくべき。【共通2・3】
- SDGsの視点が、エネルギーの考え方をはじめ、いろいろな分野に関わってくる。

### 将来像4 世界に広がる“憧れのくに”北海道ブランド

- 観光入込客数に関しては、北海道新幹線の乗客数が増えている気配が感じられない。
- 観光のマイナス面（混雑、騒音、ゴミ、トイレマナー、私有地への立入りなど）への対策を打つべき。
- 5年、10年先を見据えた形での交通システムのあり方を記載することが必要。【共通2・4】
- 交通といっても、住民の足、物流、観光という切り口がある。そこを整理して課題や今後の方向性を検討することが必要。【共通2・4】
- 道産食品の輸出実績が記載されているが、輸出だけではなく、TPP11 や日 EU・EPA、日米貿易交渉など、北海道の産業にとってマイナス面の影響が大きい動きも加味した方がよい。【共通4・5】
- 情報システムと交通システムの融合によって、北海道のモビリティが変わりうる。それが Society5.0 化につながる。【共通2・4・5】
- MaaS が話題となっているが、よく理解されていない。遅れている部分と進んでいる部分を評価しながら記載することが重要。【共通2・4】

### 将来像5 北海道の潜在力を活かす 地域経済の循環

- 道産食品の輸出実績が掲載されているが、輸出だけではなく、TPP11 や日 EU・EPA、日米貿易交渉など、北海道の産業にとってマイナス面の影響が大きい動きも加味した方がよい。【共通4・5】
- 農林水産業の人材育成について方向性を出すべき。【共通5・6】
- 一次産業は北海道の基盤となるものであり、この分野の人材育成は極めて大事。【共通5・6】
- 宇宙産業など、新たな科学技術分野を担う人材の育成が必要。【共通5・6】
- 情報基盤、情報通信が社会そのものを変えていくということが言われる中で、Society5.0 は重要な視点。【共通2・5・6】
- 情報システムと交通システムの融合によって、北海道のモビリティが変わりうる。それが Society5.0 化につながる。【共通2・4・5】

## 将来像6 北の大地を力強く切り拓く豊富な人材

- 農林水産業の人材育成について方向性を出すべき。【共通5・6】
- 一次産業は北海道の基盤となるものであり、この分野の人材育成は極めて大事。【共通5・6】
- 人材の不足によって、地域の保健福祉・医療が崩壊に向かっている状況にある。【共通1・2・6】
- 宇宙産業など、新たな科学技術分野を担う人材の育成が必要。【共通5・6】
- 建設技術者の不足は人材育成の問題に絡むので、強靱化計画での記載と重ならないように配慮をしながら記載できるとよい。【共通2・6】
- 外国人材の受入れについては、現場での課題が多いと聞く。現在の未就労者等の就業率を上げるべきであり、資料の「外国人材の受入拡大は今後ますます重要になる」との前提はいかがなものか。【共通6・7】
- 情報基盤、情報通信が社会そのものを変えていくということが言われる中で、Society5.0は重要な視点。【共通2・5・6】
- 多様な課題を解決していく上で、ジェンダー平等がないと、どの取組も前に進まないのので、ジェンダー平等に本腰を入れることが必要。【共通2・6・7】

## 将来像7 北海道ならではの個性あふれる地域

- 「関係人口」については、具体的な事例や数字を把握する努力が必要。
- 外国人材の受入れについては、現場での課題が多いと聞く。現在の未就労者等の就業率を上げるべきであり、資料の「外国人材の受入拡大は今後ますます重要になる」との前提はいかがなものか。【共通6・7】
- 子ども達が生まれ育った地域を好きになるよう、地域にちなんだ歌を作るなどソフト的な仕掛けも必要。【共通1・7】
- 外向きに北海道の魅力をアピールするだけでなく、北海道に住む若い人が自分たちを誇れるような記載が必要。【共通1・7】
- 多様な課題を解決していく上で、ジェンダー平等がないと、どの取組も前に進まないのので、ジェンダー平等に本腰を入れることが必要。【共通2・6・7】

## 経済社会情勢の変化

- 経済活動に参加する高齢者はどんどん増えているので、高齢化社会について考える場合、65歳以上の人口だけを見ても実態はわからない。
- これから予定されている消費税率の引上げも重要な視点。
- 働き方改革に関する道の取組の現状についての記載が必要。【共通1・2,「経済社会情勢の変化」】
- 在留資格別外国人労働者数のデータについて、業種別・地域別の内訳があるとよい。
- 災害について、“起こったこと”と“リスク”は異なる概念。大規模自然災害の“リスク”の増加についての観点が必要。【共通2,「経済社会情勢の変化」】